

読書のすゝめ

その26

H30

11 / 7

いばらき読書フェスティバル2018

茨城県読書推進運動協議会長感謝状

《 鉾田第二高等学校高図書館 》

感謝状

茨城県立鉾田第二高等学校 校 殿

あなたは長年にわたり読書推進運動に尽力されその功績は誠に大でありますよ。よ。いばらき読書フェスティバル2018にあたり感謝の意を表します

平成三十年十一月四日

茨城県読書推進運動協議会長 手塚克彦

11月2日付け茨城新聞にも掲載されましたが、読書推進に貢献した図書館・公民館・学校図書館及び関係者として、今年度本校図書館が推薦を受け、4日(日)に県立図書館にて感謝状をいただいております。

専任の学校司書不在の中で、このような賞をいただくことができましたのも、副技師の小室さん、菅原さんがさまざまな展示台を製作し、館内を整備してくださったことや、図書部への潤沢な予算を配分してくださった事務の先生方のおかげであり、また、図書部や図書委員会の先生方の協力と、図書委員の活動の成果であると思います。蔵書の管理やビブリオバトル、文学散歩など、図書委員会の活動は活発になっていきます。これからも一層充実した図書館になるように、先生方、図書委員さんたちとともに頑張っていきたいと思っております。



『1冊のノートがあなたの言葉を育てる』

川上徹也 朝日新聞出版

「伝え方に悩んでいる人は、『日気ノート』をつけて自分の言葉の本を育てよう！」

本書は、『言葉の本』という比喩を使って、テクニクや型の前段階にある内面の言葉を作っていく方法について、詳しく語った本です。

まずは日々の気づきをノートに記していくことから始めること。著者はそのノートを『日気(たつき)ノート』と呼んでいます。「日気」は著者による造語ですが、日々あった出来事を記す『日記』ではなく、日々気づいたことを書き記

すのが「日気」。「言葉」に関することはもちろん、あなたが自分の「言葉の本」を豊かにするというの章立てになっていますので、参考にしてみてはいかがでしょうか？



『星をつなぐ手』

村山早紀

PHP研究所

田舎町の本屋と、ある書店員の身に起こった奇跡を描き、全国書店員の共感を集め、2017年本屋大賞5位になった『桜風堂ものがたり』。その続編の登場です！

郊外の桜野町にある桜風堂書店を託され、昔の仲間たちとともに『四月の魚』をヒット作に導いた月原一。しかし地方の小さな書店であるだけに、人気作の配本がないこととなる。そんな折、昔在籍していた銀河堂書店のオーナーから呼び出される。そのオーナーが持ちかけた意外な提案とは。そして一帯がその誠実な仕事によって築き上げてきた人と人とのつながりが新たな展開を呼び、そして桜野町に住む桜風堂書店を愛する人たちが集い、冬の『星祭り』の日に、ふたたび優しい奇跡を巻き起こす。

